



Grass Valley

T3 Series

Intelligent Dynamic Digital Recorder

ハードウェアコーデックボード
インストールマニュアル
(KTR5-HW-H264-S2)

F377241101J
December 2024

ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) 記載の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書では、T3 Series を「T3」と表記します。
- 本文中の画像やイラストは、実際の製品とは一部異なる場合があります。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
- 本製品の内容は、仕様変更などにより予告なく変更することがあります。



T3 Series ハードウェアコーデックボード インストールマニュアル
Copyright © 2024 Grass Valley. All rights reserved.

安全に関する注意事項




以下の内容をよくお読みいただき、本製品および本製品に接続されている製品の損傷や破損を未然に防止してください。

保守・修理作業は、専門の技術を有する人が行ってください。

- 絵表示について
本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。










 警告	人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。
 注意	ケガをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

- 絵表示の意味




	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。
	この記号は気をつける必要があることを表しています。











使用上のご注意

設置について





 警告	
	本製品は安定した場所に設置してください。 本製品が倒れたりすると本製品の損傷やけがの原因となります。
	温度が高くなるところに設置しないでください。 直射日光の当たるところや発熱する器具の近くなどに置くと火災や故障の原因となります。また、本製品が変形、変色するおそれがあります。
	湿気や油気の多い場所では使用しないでください。 回路がショートし、感電するおそれがあります。
	アースは必ず取ってください。 感電の防止になります。
	AC100V コンセント以外の電源には接続しないでください。 機器の破損の原因となります。
	プラグは根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。
	たこ足配線はしないでください。 火災の原因となります。
	ぬれた手でケーブルの脱着をしないでください。 感電および故障の原因となります。

安全に関する注意事項






 警告	
	プラグは定期的に清掃してください。 プラグにほこりなどがたまると、絶縁不良などにより火災の原因となります。
	ケーブルの加工はしないでください。 ショートして火災や感電の原因となります。

 注意	
	通風孔をふさがしないでください。 筐体内部に熱がこもり、故障の原因となります。
	極低温、極高温、高湿度の環境で使用しないでください。 機器を破損するおそれがあります。
	ほこりが多い場所では使用しないでください。 ほこりが通風孔や内部につまると故障の原因となります。
	長期間使用しない場合はコンセントを抜いてください。 火災の防止になります。
	ケーブルを抜き差しする場合は、必ず根元のプラグを持ってください。 断線の防止となります。
	ケーブルの上にものを載せないでください。 断線して火災の原因となります。
	本製品を移動する場合は、必ず電源を切り、プラグを抜いてください。 電源を入れたまま移動すると故障の原因となります。
	ケーブル類の設置場所にご注意ください。 ケーブル類に引っかかると本製品が転倒したり落下し、機器を破損するおそれがあります。また、落下した本製品でけがをするおそれがあります。ケーブル類を踏むと断線し、火災の原因となります。
	製品付属のケーブル以外は使用しないでください。 火災や機器を破損するおそれがあります。

ご使用について

 警告	
	煙が出たり、異臭が漂う場合は、すぐに電源を切りプラグを抜いてください。 本製品が故障しています。そのまま使用していると、爆発・火災の原因となります。
	本製品が物理的・機械的に故障していると思われる場合は、すぐに使用を中止してください。 そのまま継続して使用すると、爆発・火災の原因となります。
	ぬれた手で機器に触れないでください。 感電および故障の原因となります。






注意

	本製品の上に重いものを載せないでください。 筐体に変形するおそれがあります。
	本製品の上に水などの入った容器や金属物を置かないでください。 水などがこぼれたり、クリップなどの異物が内部に入った場合、火災、感電の原因となります。
	本製品に衝撃を与えないでください。 破損の原因となります。
	不用意に端子類に触れないでください。 故障や感電の原因となります。
	お手入れの際は電源を切ってください。 接続する時やお手入れの際は電源プラグを抜いてください。感電や製品故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

保守上のご注意

保守・修理作業を行う前に必ず以下の内容をよくお読みいただき、本マニュアルの内容にしたがって、正しく保守・修理作業を行ってください。

警告


	本書で記載している保守手順は、専門の技術を有するサービスマンのみが行うことを想定しています。人への危害を防止するために、専門の技術を有する人以外は、絶対に保守・修理作業を行わないでください。
	応急処置ができる人の立ち会いのもとで、本製品の保守・修理作業を行ってください。
	感電を防止するため、保守や修理作業を行う前に必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。
	危険な電圧または電流が本製品内に残留している可能性があるため、製品保護用のパネルの取り外しや部品の交換を行う前に、電源を切り、電源プラグを抜くか、(可能であれば) バッテリーを取り外してください。
	感電を防止するため、端子部分には触れないでください。


ハードウェアコーデックボードの取り付け


作業前に確認しておきたいこと

ここでは、ハードウェアコーデックボードの取り付け手順について説明しています。取り外しの手順は、特に記載がないかぎり、逆の手順になります。注意書きが記載されている場合は、それにしたがってください。

POINT： ネジやステイなどの取り外した部品類は捨てないでください。

 **警告：** ハードウェアコーデックボードの取り付けを行う前に、必ずシステムの電源を切り、本体から電源コードを抜いてください。感電や製品故障の原因となります。

 **警告：** T3 の部品を取り付ける際、必ず取り外したネジと同じネジを使用して元の位置に取り付けてください。

 **警告：** 静電気の放電や物理的な衝撃により、T3 の一部が破損する場合があります。必ず静電気防止用 (ESD) のリストバンドを使用し、アースを行ったうえで作業をしてください。

使用する工具

プラスドライバー #2

T3 の電源を切り、電源コードを取り外す

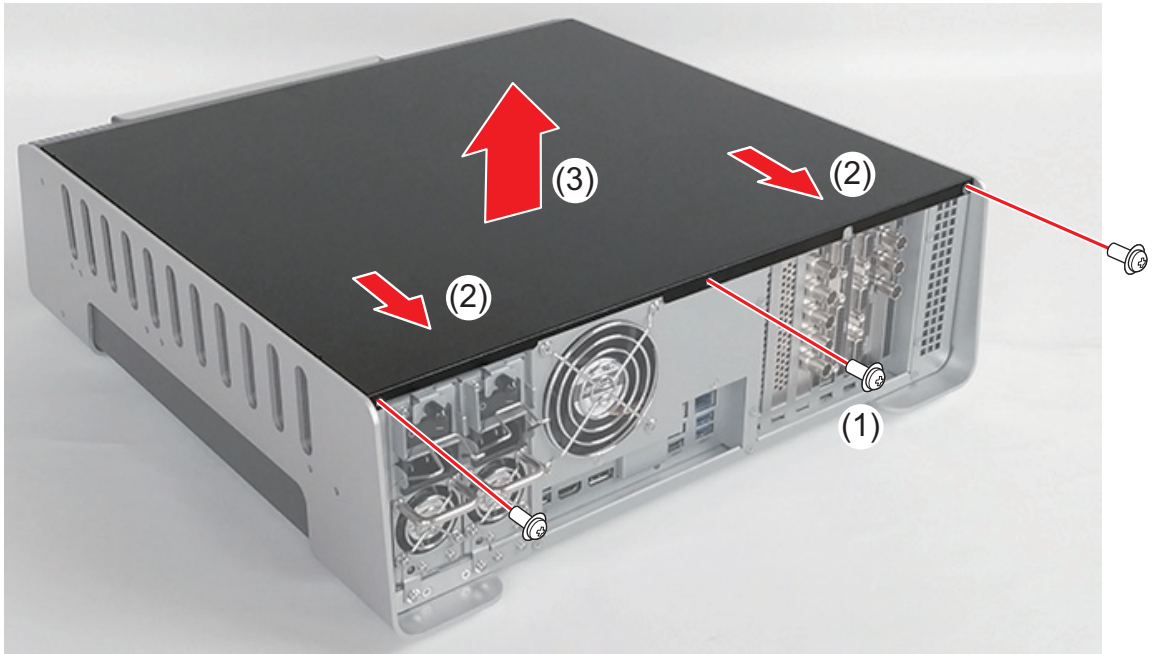
1. T3 をシャットダウンする
2. 主電源スイッチを OFF にする
3. 電源ケーブル抜け止め金具を押して、電源コードのロックを解除する
4. AC インレットから電源コードを抜く
5. もう一方の電源カートリッジ側で手順 2 ～ 4 を行う

ハードウェアコーデックボードの取り付け

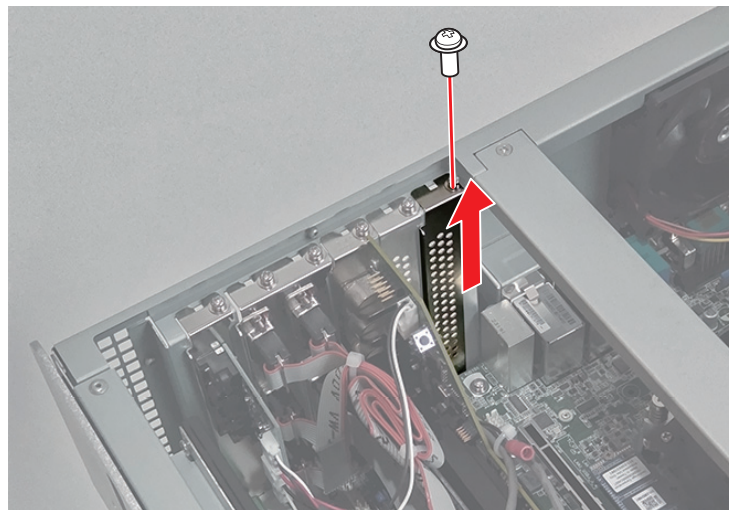
警告： ハードウェアコーデックボードを取り付けるときは、マザーボードを傷つけないように注意してください。

1. トップカバーを取り外す

- (1) リア側のネジ（スプリング・大ワッシャー付き）を3本外す
- (2) トップカバーを両手で押さえながらスライドさせる
- (3) トップカバーを取り外す

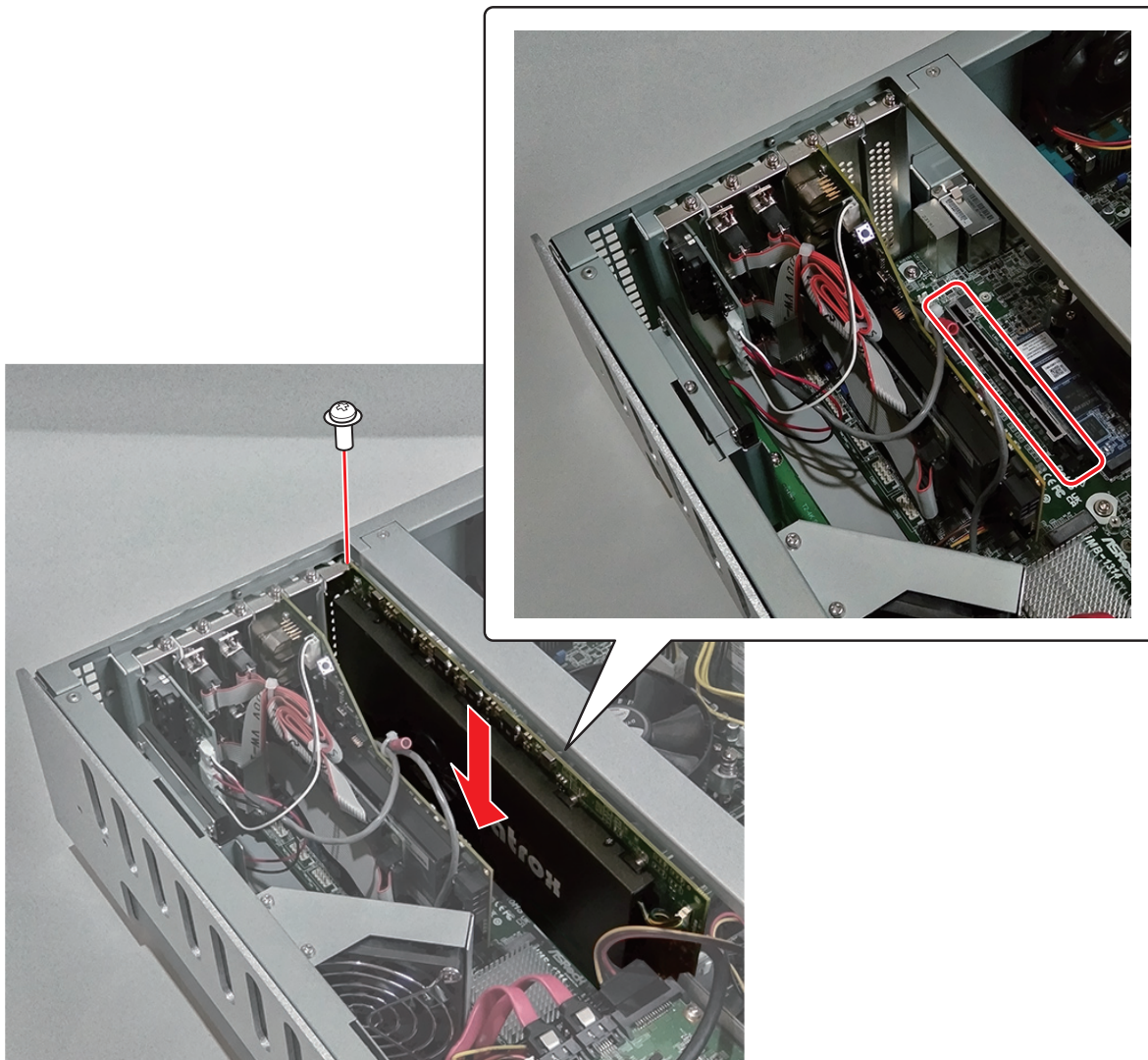


2. ネジ（スプリング・大ワッシャー付き）を取り外し、PCI Express スロットカバーを取り外す

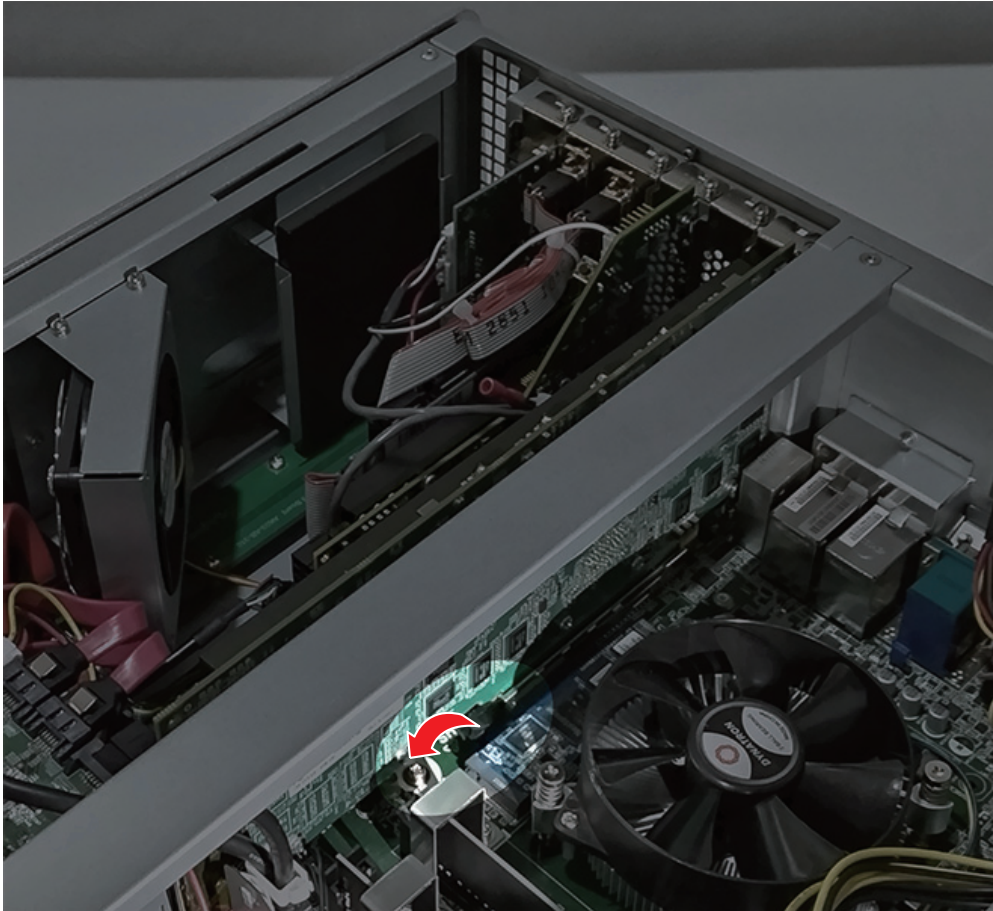


ハードウェアコーデックボードの取り付け

3. PCI Express × 16 スロット (PCIE3) にハードウェアコーデックボードを取り付け、ネジ (スプリング・大ワッシャー付き) を取り付ける



POINT : ハードウェアコーデックボードを取り外すときは、スロットのロックを下側に押し込んで解除してから外してください。



ソフトウェアのアップデート

ハードウェアコーデックボードの取り付けが完了したら、最新の T3 のソフトウェアにアップデートしてください。

アップデートの前に


入力デバイスの接続


USB キーボード、マウスを T3 に直接接続します。USB ハブや KVM スイッチを介した接続は行わないでください。

重要：セキュリティオプションの変更

1. 製品サポートページから T3 ソフトウェアの最新のインストーラーを PC にダウンロードする
2. ダウンロードしたファイルを右クリックして、**プロパティ**をクリックする
3. **許可する**のチェックマークが表示されている場合は、チェックを入れて **OK** をクリックする



 **注意:** この操作を省略すると、アップデート実行時に「Windows Smart Screen」の警告等が表示されることがあります。

 **注意:** **許可する**のチェックマークが表示されていない場合は、「プロパティ」画面を閉じて次の手順に進んでください。

アップデートメディアの作成

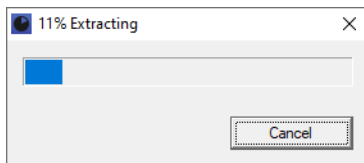
1. USBメモリーをPCに接続し、USBメモリー内に「T3_Upd」フォルダーを作成する
2. 「T3_Upd」フォルダーにダウンロードしたファイルをコピーする

T3 をメンテナンスモードで起動

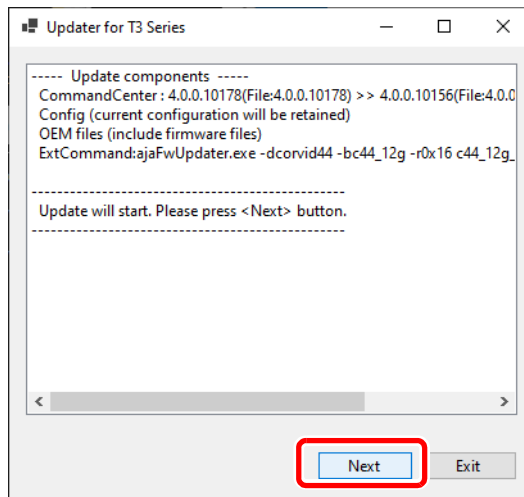
1. 以下の操作で T3 をメンテナンスモードに切り替える
 - フロントパネルモードの場合
1ch 表示に切り替え、**メニュー**をタップした後、**ツール→メンテナンス**をタップします。
 - ワークステーションモードの場合
メニューバーから**システム**をクリックし、**メンテナンス ...**をクリックします。
2. パスワード入力画面で入力エリアをタップし、パスワード (admin) を入力して **OK** をタップする
3. 確認のメッセージが表示されたら、**Yes** をタップする

ソフトウェアのアップデート

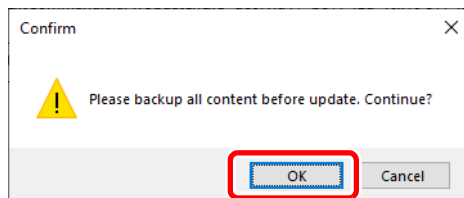
1. アップデートメディア（USB メモリー）を T3 の USB 端子に接続する
2. T3 のファイルエクスプローラーで、「T3_Upd」フォルダーを開く
3. T3_Updater-x.x.x.xxxxx.exe をダブルクリックする
 - 下記の画面が表示されます。



4. 「Updater for T3 Series」画面が表示されたら、**Next** をクリックする

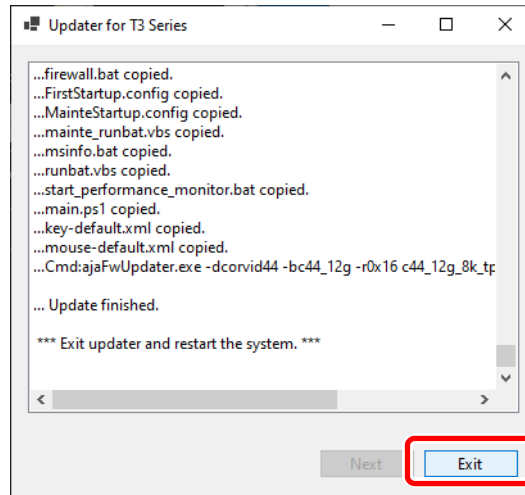


5. 「Confirm」画面が表示されたら、**OK** をクリックする

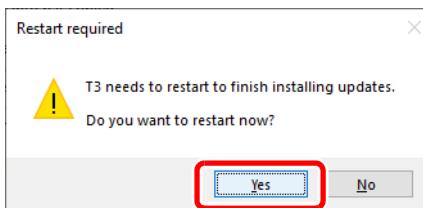


- アップデートが実行されます。

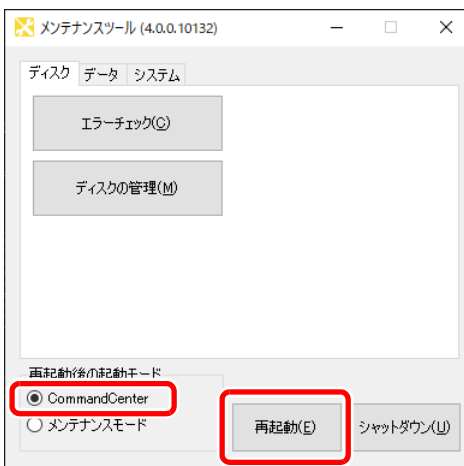
6. 「Updater for T3 Series」画面に「***Exit updater and restart th system.***」と表示されたら、**Exit** をクリックする



7. 「Restart required」画面が表示されたら、**Yes** をクリックする



8. メンテナンスツールメイン画面の「再起動後の起動モード」で CommandCenter を選択し、**再起動** をクリックする



- CommandCenter モードで再起動します。

9. 1ch 表示に切り替え、**メニュー** をタップした後、**ツール** → **T3 について** をタップする

10. 「Hardware codec」の項目が表示されていることを確認し、OK をクリックする

